

科目名

倫理学 I

《2単位(講義)／経営福祉学科1年前期／選択》

担当者

坂本哲朗

実務経験

授業の概要

「人間って本当にいいものかしら」という言葉が、児童文学作品の中にある。青年期の学生が社会有用の人材として、本物の大人、社会人になるためには、人間とは何かについて学びあい、より良く生きることに
ついて考える習慣を身につけたり、結論を得たりする必要がある。スポーツ、ビジネスなどの応用倫理学で
思考を深め、生き方を探る。

到達目標

- ・人間とは何か、私は何かなどの疑問や課題を把握することができる。
- ・発見した課題について主体的に取り組み、個としての結論を得ることができる。
- ・自己の思考判断や結論をもとに、他者との比較検討や議論により、学び合いができる。
- ・「人間とは何か」について、自己の表現力、表現方法で伝えようとする事ができる。

事前事後学習

日常的に善悪や生き方について関心を持ち、責任ある行動を取ろうと心がけて生活する。
「より良く生きる」「我は我なり」などの言葉との出会いを大切に、記録に留めておく。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
	○

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	ようこそ倫理学「人間って本当にいいものかしら」	1	
2	道徳教育 I 人間の魅力と魔力	2	
3	道徳教育 II 重要ポイントと展望	3	
4	義務と責任 I	4	
5	義務と責任 II	5	
6	善と悪 I	6	
7	善と悪 II	7	
8	表現の自由 I	8	
9	表現の自由 II	9	
10	スポーツは公平・平等 I	10	
11	スポーツは公平・平等 II	11	
12	貨幣の倫理学 I	12	
13	貨幣の倫理学 II	13	
14	小論文作成	14	
15	小論文発表会・意見交流	15	

授業外学習内容とその時間	新聞やメディアなどを活用し、時事問題に着目。 ノートに記録し、講義内活動に活用。		
課題のフィードバック方法	毎回の講義内容について、自らの思考判断を10分で400時に表現する。 質問等については、次回までに個別または全体に指導する。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験		ディスカッション	有
レポート	45%	プレゼンテーション	有
小テスト		スピーチ	有
発表(プレゼン・スピーチ等)	10%	ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度	45%	教室外学習	
その他		その他	

テキスト	「本当にわかる倫理学」田上孝一 日本実業出版社
参考文献・推薦図書	「もういちど読む山川倫理」小寺 聡 山川出版社、「熊本の心」熊本県教育委員会編
関連のある授業科目	倫理学Ⅱ
資格等	なし

科目名

倫理学Ⅱ

《2単位(講義)／経営福祉学科1年後期／選択》

担当者

坂本哲朗

実務経験

授業の概要

「人間とは何か」について自己に問い続けることが、社会有用の人材となるには必要である。益々、高度情報化社会が進展する中で、ともすれば自己を見失い、自己有用感や自尊感情を獲得することなく、辛く困難な人生を歩んだり、自己否定の結果、生命の否定に及んだりすることもある。本授業では、多数と少数、存在と外見などの対立概念を現実の生活から問い、生きる価値について学び合う。人間はみんな本当にいいものなんだ。

到達目標

- ・人間とは何かの疑問や課題を把握することができる。
- ・自己の思考判断や結論をもとに、他者との比較検討や議論により、学び合うことができる。
- ・課題について主体的に追及し、検討の結果を踏まえて、自己の結論を得ることができる。
- ・追求・討論を通じて、人と社会の規範を問い続けようとするすることができる。

事前事後学習

日常的に善悪や生き方について関心を持ち、責任ある行動を取ろうと心掛けて生活する。「より良く生きる」「我はわれなり」などの言葉との出会いを大切に、記録にとどめておく。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
	○

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1		1	さらに倫理学「花のき村と盗人たち」
2		2	多数と少数Ⅰ
3		3	多数と少数Ⅱ
4		4	宗教と倫理Ⅰ
5		5	宗教と倫理Ⅱ
6		6	自殺と自由Ⅰ
7		7	自殺と自由Ⅱ
8		8	ギャンブルと自由Ⅰ
9		9	ギャンブルと自由Ⅱ
10		10	情報と倫理
11		11	生命と倫理
12		12	環境と倫理
13		13	人権福祉と倫理
14		14	小論文作成
15		15	小論文発表会、意見交流

授業外学習内容とその時間	新聞やメディアなどを活用し、時事問題に着目。 ノートに記録し、講義内活動に活用。			
課題のフィードバック方法	毎回の講義内容について、自らの思考判断を10分で400時に表現する。 質問等については、次回までに個別または全体に指導する。			
成績評価方法	評価割合		アクティブラーニング	有無
定期試験			ディスカッション	有
レポート	45%		プレゼンテーション	有
小テスト			スピーチ	有
発表(プレゼン・スピーチ等)	10%		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度	45%		教室外学習	
その他			その他	

テキスト	「本当にわかる倫理学」田上孝一 日本実業出版社
参考文献・推薦図書	「もういちど読む山川倫理」小寺 聡 山川出版社
関連のある授業科目	倫理学 I
資格等	なし

科目名

文学 I

《2単位(講義)／経営福祉学科1年前期／選択》

担当者

山本八重子

実務経験

授業の概要

本講義では、詩歌、随筆、小説などいろいろな文学作品を学習し、輪読やグループでの話し合い等を通して、読解力を付けるとともに読む楽しさを味わうことができるようにする。なお、熊本・八代に関連のある作家や作品も取り上げる。お互いの読みを交流し、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の総合的なコミュニケーション力を養う。

到達目標

- (1) 大学生として、集中して「読むこと」の技術を習得し読解力を伸ばすことができる。
- (2) ものの見方・考え方を学び、自己を見つめ視野を広げることができる。
- (3) 文学作品に関心をもち、読書の楽しさを味わうことができるようにする。

事前事後学習

《事前学習》 講義該当の文章を通読し、難語句の読みや意味を調べておくこと。
《事後学習》 学習した作品を読んでまとめておく。ノートを整理しておくこと。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	○
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				
試験実施の有無	実施する	実施しない			
	○				

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	授業内容の概要および計画の説明	16	
2	星新一のショートショートを読む。『きまぐれロボット』から	17	
3	星新一のショートショートを読む。構成のおもしろさ	18	
4	詩を読み、鑑賞力をつける。	19	
5	随筆を読み、鑑賞力をつける。岡潔『春宵十話』から	20	
6	随筆を読み、鑑賞力をつける。向田邦子『父の詫び状』から	21	
7	短編小説を輪読する。芥川龍之介『鼻』から	22	
8	短編小説の作中人物の考察	23	
9	短編小説の文体等の考察	24	
10	短編小説『さすらいの煩惱』(黒川嘉正)を輪読する。	25	
11	短編小説『さすらいの煩惱』山頭火の生き方を探る。	26	
12	短編小説『さすらいの煩惱』山頭火の日奈久の3日間を探る。	27	
13	山頭火の俳句の鑑賞 小論文 課題提示	28	
14	課題提出	29	
15	講義のまとめ	30	

授業外学習内容とその時間	短編小説を読む。		
課題のフィードバック方法	課題について小論文にまとめた作品を添削して返却する。全体的にできていないところを再指導する。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験		ディスカッション	有
レポート	70%	プレゼンテーション	有
小テスト	10%	スピーチ	有
発表(プレゼン・スピーチ等)	10%	ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度	10%	教室外学習	
その他		その他	

テキスト	『羅生門・鼻・芋粥』芥川龍之介 角川文庫 岡潔『春宵十話』光文社 その他の教材は作成し配布する。
参考文献・推薦図書	星新一『きまぐれロボット』・向田邦子『父の詫び状』・黒川嘉正『さすらいの煩惱』
関連のある授業科目	
資格等	

科目名

文学Ⅱ

《2単位(講義)／経営福祉学科1年後期／選択》

担当者

山本八重子

実務経験

授業の概要

文学Ⅱでは、文学Ⅰを踏まえ、登場人物の生き方を学び、読解力をさらに伸ばす。そのために優れた日本文学の韻文・散文に出会い、読み方・学び方を深めて、文章の描写の美しさ・細やかさに気付くようにする。熊本・八代にゆかりのある名作や作家も取り上げ、郷土の自然や先人の心に共感する機会とする。

到達目標

- (1) 地方文学を含めた文学作品を読解し、その良さや美しさを味わうことができる。
- (2) 表現を通して感動した場面を押さえ、自己を見つめ、共感することができる。
- (3) 文学作品に関心を持ち、読書の楽しさを味わうことができる。

事前事後学習

《事前学習》 講義該当の文章を通読し、難語句の読みや意味を調べておくこと。
《事後学習》 学習した作品を読んで自分の感想をノートにまとめておくこと。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	○
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				
実施する	実施しない			
○				

試験実施の有無

○

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1		16	授業内容の概要および計画の説明
2		17	短編小説『黄昏の蝶』(黒川嘉正)を輪読する。
3		18	短編小説『黄昏の蝶』作中人物の考察
4		19	短編小説『黄昏の蝶』表現の考察
5		20	熊本出身徳富蘆花の作品を輪読する。
6		21	熊本出身徳富蘆花の作品を輪読する。
7		22	八代に関連のある万葉集を探る。
8		23	八代に関連のある連歌師「西山宗因」を探る。
9		24	熊本ゆかりの『草枕』(夏目漱石)を輪読する。
10		25	熊本ゆかりの『草枕』を輪読する。
11		26	熊本ゆかりの『草枕』を輪読する。(非人情と不人情)
12		27	随筆を読み、ものの見方・考え方を広げる。幸田文『父・こんなこと』
13		28	小論文の書き方と作成準備 課題提示
14		29	課題についての小論文提出
15		30	講義のまとめ

授業外学習内容とその時間			
課題のフィードバック方法	課題について小論文にまとめた作品を添削して返却する。全体的にできていないところを繰り返し指導する。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験		ディスカッション	有
レポート	70%	プレゼンテーション	有
小テスト	10%	スピーチ	有
発表(プレゼン・スピーチ等)	10%	ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度	10%	教室外学習	
その他		その他	

テキスト	『草枕』夏目漱石 新潮文庫 幸田文『父・こんなこと』 その他の教材は作成し配布する。
参考文献・推薦図書	黒川嘉正『黄昏の蝶』・徳富蘆花の作品・万葉集
関連のある授業科目	
資格等	

科目名

法学 I

《2単位(講義)／経営福祉学科1年前期・介護選択必修》

担当者

川井健次

実務経験

授業の概要

社会生活を営む上で数多くの法律(正式な法律名を知らないものがほとんどである)と関わり合いを持つことを得ない。たとえば、売買、賃貸、土地・建物の賃貸、交通事故、家庭における親子関係、相続や新聞の三面記事に載る犯罪、また会社で働く場合の会社との関係などである。これらの法律関係を基礎から考えたい。

到達目標

売買、賃貸借等契約内容の理解、交通事故による損害賠償責任の意味、婚姻・離婚・相続・親子関係についての民法の定め等、最低限度の知識を修得する。

事前事後学習

授業計画のそれぞれのテーマに関連するテキストの箇所を授業前によんでおくこと。
ホワイトボードに板書したことをノートにとり、整理すること。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	高い倫理性の保持	
3	尊厳と自立を支えるケアを実践する	
4	専門職として自立的に介護過程の展開ができる	
5	身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる	
6	介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる	
7	QOL(生活の質)の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象者の状態の変化に対応できる	
8	地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる	
9	関連領域の基本的なことを理解し、多職種協働によるチームケアを実践する	
10	本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記述ができる	
11	制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる	○
12	介護職の中で中核的な役割を担う	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画(項目・内容)

回	前期
1	法の意義 法と道徳の違い
2	法の適用 裁判の意味と構造
3	家庭と法 親族関係について(1)
4	家族と法 親族関係について(2)
5	家族と法 相続関係について
6	犯罪と法 犯罪とは何か?
7	犯罪と法 罪刑法定主義
8	犯罪と法 刑罰の意味、内容
9	損害と法 不法行為
10	損害と法 損害賠償義務
11	企業と法 会社の種類
12	企業と法 会社の種類
13	企業と法 株式会社の内容
14	職場と法 労働基準法の意義
15	職場と法 労働基準法の原則

成績評価基準及び方法

定期試験(70%)、レポート等提出(15%)、学習態度等(15%)	
テキスト	参考文献・推薦図書
「基本法学入門」 蓮井良憲・畑 博之著 有信堂高文社	「法学入門」 遠藤 浩・久保田きぬ子 有斐閣
関連のある授業科目	資格等
法学Ⅱ	介護福祉士国家試験受験資格 社会福祉主事任用資格

科目名

法学Ⅱ

《2単位(講義)／経営福祉学科2年前期・介護選択必修》

担当者

川井健次

実務経験

授業の概要

前期科目の「法学Ⅰ」は、法学全般に対する基本的な理解を目標とするが、「法学Ⅱ」は法学Ⅰの理解を前提として、法律と政治の実践的な問題について説明したい。

到達目標

選挙に関する憲法および公職選挙法の規定、社会権のひとつとして憲法の保障する労働基本権や労働法の原則、さらに裁判に対する原則などを理解する。

事前事後学習

授業計画のそれぞれのテーマに関連するテキストの箇所を授業前によんでおくこと。ホワイトボードに板書したことをノートにとり、整理すること。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	高い倫理性の保持	
3	尊厳と自立を支えるケアを実践する	
4	専門職として自立的に介護過程の展開ができる	
5	身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる	
6	介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる	
7	QOL(生活の質)の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象者の状態の変化に対応できる	
8	地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる	
9	関連領域の基本的なことを理解し、多職種協働によるチームケアを実践する	
10	本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記述ができる	
11	制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる	○
12	介護職の中で中核的な役割を担う	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				
試験実施の有無	実施する	実施しない			
	○				

授業計画(項目・内容)

回	後期
1	政治① 民主主義について
2	政治② 政治的イデオロギーの機能
3	政治③ 選挙について
4	政治④ 現代国家の政治的特質
5	政治⑤ ナショナリズムについて
6	法律Ⅰ① 憲法の三大原則について
7	法律Ⅰ② 国会について
8	法律Ⅰ③ 裁判所について
9	法律Ⅰ④ 地方自治について
10	法律Ⅱ① 民法総則
11	法律Ⅱ② 物権法
12	法律Ⅱ③ 債権法
13	法律Ⅲ① 会社法
14	法律Ⅲ② 有価証券法
15	法律Ⅳ 労働法の現代的課題

成績評価基準及び方法

定期試験(70%)、レポート・課題(15%)、学習態度(15%)	
テキスト	参考文献・推薦図書
「基本法学入門」 蓮井良憲・畑 博之 有信堂高文社	「法学入門」 遠藤 浩・久保田きぬ子 有斐閣
関連のある授業科目	資格等
法学 I	介護福祉士国家試験受験資格 社会福祉主事任用資格

科目名

英語基礎

《1単位(演習)／経営福祉学科1年後期》

担当者

村橋 哲也

実務経験

授業の概要

基礎的な英文法を学び、英語を読む、書くに慣れていきます
プレゼンテーションなど実践的な英語力の練習をしていきます

プ

到達目標

英文を読み、概要を理解することができる。 基本的な英文法の理解 簡単な英語の作文が書けるようになる

事前事後学習

単語や文法の復習をする

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義

演習

実験

実習

実技

○

試験実施の有無

実施する

実施しない

○

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1		1	オリエンテーション(シラバス等の説明)
2		2	発音、スペル、文法の基礎学習
3		3	品詞 / 動詞の種類
4		4	基本文法を確認しよう (現在形、過去形、未来形)
5		5	基本文法を確認しよう (現在形、過去形、未来形)
6		6	文法:代名詞、接続詞 / 文の構造
7		7	文章を読んでみよう (スラッシュリーディング)
8		8	文章を読んでみよう & 要約
9		9	文章を読んでみよう & 要約
10		10	Reading & 要約 & スピーキング
11		11	Reading & 要約 & スピーキング
12		12	Reading & 要約 & スピーキング
13		13	Discussion & レポート
14		14	映画鑑賞
15		15	映画鑑賞 & プレゼンテーション

授業外学習内容とその時間				
課題のフィードバック方法				
	成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
	定期試験	30%	ディスカッション	
	レポート		プレゼンテーション	
	小テスト		スピーチ	
	発表(プレゼン・スピーチ等)	30%	ロールプレイ	
	平常点・授業への貢献度	40%	教室外学習	
	その他		その他	

テキスト	ユメブンO 監修・執筆 木村達哉、佐藤仁志 アルク
参考文献・推薦図書	なし
関連のある授業科目	英語応用
資格等	なし

科目名

英語応用

《1単位(演習)／経営福祉学科2年前期》

担当者

村橋哲也

実務経験

授業の概要

1年時より学んだ文法を確実に身につけ、それらを実戦に活かすために、英文を読み、日本語、英語で要約をする。英文の読解力だけでなく、自らの考えを英語で表現する練習をしていく。

到達目標

自らの考えを表現できるように英文法や様々な英語表現を学び、総合的な英語力を養う。そうすることによって、読む、書く、話すなど実践的英語力を身につける。

事前事後学習

単語や文法の復習をする。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				
試験実施の有無	実施する	実施しない			
	○				

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	シラバスの説明、自己紹介など	16	
2	文法復習、スラッシュReading	17	
3	疑問詞 & スラッシュリーディング	18	
4	不定詞 & Reading	19	
5	動名詞 & Reading	20	
6	第1回文法テスト	21	
7	助動詞 & Reading	22	
8	比較級、最上級 & Reading	23	
9	受動態 & Reading	24	
10	現在完了形 & Reading	25	
11	関係代名詞 & Reading	26	
12	第2回文法テスト	27	
13	文法復習 & Reading1(文章読解)	28	
14	文法復習 & Reading2(文章読解)	29	
15	映画鑑賞	30	

授業外学習内容とその時間				
課題のフィードバック方法				
	成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
	定期試験	70%	ディスカッション	
	レポート		プレゼンテーション	
	小テスト		スピーチ	
	発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
	平常点・授業への貢献度	30%	教室外学習	
	その他		その他	

テキスト	ユメブンO 監修・執筆 木村達哉、佐藤仁志 アルク
参考文献・推薦図書	なし
関連のある授業科目	英語基礎
資格等	なし

科目名

海外研修

《2単位(講義)／経営福祉学科1年・2年前期》

担当者	村上幸生	実務経験	
授業の概要	海外における体験活動を通じて、外国の事情や異文化についての理解を深めるとともに、異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションを図るための態度や能力の基礎を養う。		
到達目標	異文化に対する寛容な態度を身につけるとともに、異文化についてのプレゼンテーションを行うことができる。		
事前事後学習			

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	○
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	○
9	情報収集整理能力	○
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○	○			
試験実施の有無	実施する	実施しない			
		○			

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	事前学習1(韓国について)	1	
2	事前学習2(ハンゲル語)	2	
3	事前学習3(現地研修先について1)	3	
4	事前学習4(現地研修先について2)	4	
5	現地研修	5	
6	現地研修	6	
7	現地研修	7	
8	現地研修	8	
9	現地研修	9	
10	現地研修	10	
11	現地研修	11	
12	現地研修	12	
13	現地研修	13	
14	事後学習1(振り返り・プレゼン資料作成)	14	
15	事後学習2(プレゼン発表)	15	

授業外学習内容とその時間			
課題のフィードバック方法	学習支援ポータル上にて行う。		
	成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング
			有無
定期試験			ディスカッション
レポート		50%	プレゼンテーション
小テスト			スピーチ
発表(プレゼン・スピーチ等)		50%	ロールプレイ
平常点・授業への貢献度			教室外学習
その他(確認テスト)			その他

テキスト	学習支援ポータル上に配置
参考文献・推薦図書	学習支援ポータル上で紹介
関連のある授業科目	
資格等	

科目名

ライフプランニング I

《1単位(演習)／経営福祉学科1年前期／卒業必修》

担当者

村上幸生

実務経験

授業の概要

社会人としての基礎能力を身に付け、これからの社会で生き抜くための技能・知識を身につける。

到達目標

- ①就職に対する心構えを早期に確立する。
- ②社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を身につける。

事前事後学習

配布資料がある場合には事前に読んで予習しておくこと。講義後は、習った内容をノート等に各自まとめておくこと。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	○
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
	○			

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	履修指導 全体指導・ゼミ別指導	1	
2	学科ガイダンス 大学での学び方	2	
3	就職環境の変化 社会で必要とされる人材	3	
4	研修 キャリアデザイン (グループワーク)	4	
5		5	
6	研修 キャリアデザイン (グループワーク)	6	
7		7	
8	キャリア開発	8	
9	キャリア開発	9	
10	キャリア開発	10	
11	キャリア開発	11	
12	キャリア開発	12	
13	キャリア開発	13	
14	キャリア開発	14	
15	キャリア開発	15	

授業外学習内容とその時間			
課題のフィードバック方法			
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験		ディスカッション	
レポート	70%	プレゼンテーション	○
小テスト		スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度	30%	教室外学習	○
その他		その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	随時紹介します。
関連のある授業科目	ライフプランニングⅡ
資格等	

科目名

ライフプランニングⅡ

《1単位(演習)／経営福祉学科1年後期／卒業必修》

担当者

村上幸生

実務経験

授業の概要

社会人としての基礎能力を身に付け、これからの社会で生き抜くための技能・知識を身につける。

到達目標

- ①自分らしい生き方を考える。
- ②ビジネスマナーの実際を習得する。
- ③卒業後の進路(職業選択)を明確にする。

事前事後学習

配布資料がある場合には事前に読んで予習しておくこと。講義後は、習った内容をノート等に各自まとめておくこと。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	○
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
	○			

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1		1	オリエンテーション
2		2	後期オリエンテーション及び履修指導
3		3	ファイナンシャルプランナー講和
4		4	人生設計
5		5	ライフパワーグラフを作ろう
6		6	研修
7		7	学園祭について話し合い
8		8	学園祭の準備
9		9	研修
10		10	学園祭への参加
11		11	キャリア開発
12		12	キャリア開発
13		13	キャリア開発
14		14	キャリア開発
15		15	キャリア開発

授業外学習内容とその時間			
課題のフィードバック方法			
	成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング
			有無
	定期試験		ディスカッション
	レポート	70%	プレゼンテーション
	小テスト		スピーチ
	発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ
	平常点・授業への貢献度	30%	教室外学習
	その他		その他

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	随時紹介します。
関連のある授業科目	ライフプランニング I
資格等	

科目名

ライフプランニングⅢ

《1単位(演習)／経営福祉学科2年前期／卒業必修》

担当者

村上幸生

実務経験

授業の概要

進路指導と、各自の個性に応じた専門知識と技術の修得を行う。

到達目標

1年次に身につけた知識や技術をもとに具体的に進路決定のために行動する。

事前事後学習

随時指示する。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	○
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
	○			

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	オリエンテーション 履修指導及び進路志望調査	1	
2	進路指導 全体指導 業種、職種などについて	2	
3	進路指導 全体指導 就活サイト登録など	3	
4	研修	4	キャリアデザイン (グループワーク)
5		5	
6	研修	6	キャリアデザイン (グループワーク)
7		7	
8	キャリア開発	8	
9	キャリア開発	9	
10	キャリア開発	10	
11	キャリア開発	11	
12	キャリア開発	12	
13	キャリア開発	13	
14	キャリア開発	14	
15	キャリア開発	15	

授業外学習内容とその時間			
課題のフィードバック方法			
	成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング
			有無
	定期試験		ディスカッション
	レポート	70%	プレゼンテーション
	小テスト		スピーチ
	発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ
	平常点・授業への貢献度	30%	教室外学習
	その他		その他

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	随時紹介します。
関連のある授業科目	ライフプランニングIV
資格等	

科目名

ライフプランニングⅣ

《1単位(演習)／経営福祉学科2年後期／卒業必修》

担当者

村上幸生

実務経験

授業の概要

進路指導と、各自の個性に応じた専門知識と技術の修得を行う。

到達目標

進路を決定し社会人になるための準備をする。

事前事後学習

随時指示する。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	○
2	他者とのコミュニケーション力	○
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
			○		
試験実施の有無	実施する	実施しない			
	○				

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1		1	オリエンテーション 後期オリエンテーション及び進路決定状況調査
2		2	進路指導 ゼミ別に進路指導
3		3	進路指導 ゼミ別に進路指導
4		4	研修 学園祭について話し合い
5		5	
6		6	研修 学園祭への参加
7		7	
8		8	キャリア開発
9		9	キャリア開発
10		10	キャリア開発
11		11	キャリア開発
12		12	キャリア開発
13		13	キャリア開発
14		14	キャリア開発
15		15	キャリア開発

授業外学習内容とその時間			
課題のフィードバック方法			
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験		ディスカッション	
レポート	70%	プレゼンテーション	○
小テスト		スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度	30%	教室外学習	○
その他		その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	随時紹介します。
関連のある授業科目	ライフプランニングⅢ
資格等	

科目名

経済学 I

《2単位(講義)／経営福祉学科2年前期／選択必修》

担当者

宇野木広樹

実務経験

授業の概要

我々は周囲の人々との色々な関係の中で生活しています。個人の行動は少なからず、周囲の人々の行動に影響を与え、それが社会全体への影響として波及していきます。集団的意思決定メカニズムでは、結果が自分ひとりの行動によって決まるのではなく、相手の行動によっても異なります。このように、複数の主体が相互に依存し合う状況をゲーム理論を用いて簡潔に表現し、理解していきます。また、家計や企業の経済行動を考えるミクロ経済学の基礎的な部分を、身の回りの状況に照らし合わせながら解説していきます。

到達目標

ミクロ経済学とゲーム理論とはどのようなものか、消費者行動の理論、生産者行動の理論、戦略形ゲーム、展開形ゲームなどを理解する。公務員試験などで出題される問題を解けるようになる。

事前事後学習

Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	○
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	経済学とは何か		
2	需要と供給		
3	市場均衡		
4	均衡に影響を与える要因		
5	限界効用均等の法則		
6	限界生産力		
7	利潤最大化条件		
8	小テスト(1)		
9	インセンティブと均衡		
10	戦略形ゲーム(1)		
11	戦略形ゲーム(2)		
12	展開形ゲーム(1)		
13	展開形ゲーム(2)		
14	展開形ゲーム(3)		
15	小テスト(2)		

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題、小テストをアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。		
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題や小テストの模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験	60%	ディスカッション	
レポート		プレゼンテーション	
小テスト	40%	スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度		教室外学習	
その他		その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	『マイクロ経済学戦略的アプローチ』, 梶井厚志、松井彰彦著, 日本評論社
関連のある授業科目	経済学Ⅱ、総合政策論、経済統計
資格等	なし

科目名

経済学Ⅱ

《2単位(講義)／経営福祉学科2年後期／選択必修》

担当者

宇野木広樹

実務経験

授業の概要

人々の意見をまとめてその中から望ましい選択肢を選び出すルールを集約ルールといいます。代表的な集約ルールは単純多数決であり、我々は普段から良く用いています。しかし、単純多数決よりも優れた集約ルールがたくさん存在します。より良い集約ルールを社会全体の意思決定に用いる事で、我々の意思が反映される社会が実現されるのです。
本講義では、社会選択論を基礎として、様々な集約ルールを紹介し、それらの特徴を解説していきます。最終的に日本の憲法改正要件に関して、理論的に考えていきます。

到達目標

様々な集約ルールを理解し、実際に意見集約の際に最適な集約ルールを用いる事が出来るようになる。

事前事後学習

Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	○
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				
試験実施の有無	実施する	実施しない			
	○				

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
		1	順序関係と選好
		2	選好関係
		3	選択構造
		4	独立投票モデル
		5	ペア敗者基準
		6	スコアリングルール
		7	小テスト(1)
		8	ペア勝者基準
		9	多数決ルール
		10	コンドルセ・ヤングの最尤法
		11	マルケヴィッチの反例
		12	オストロゴルスキーのパラドックス
		13	単峰性と中位投票者定理
		14	憲法改正を考える
		15	小テスト(2)

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題、小テストをアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。		
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題や小テストの模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験	60%	ディスカッション	
レポート		プレゼンテーション	
小テスト	40%	スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度		教室外学習	
その他		その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	『多数決を疑う-社会的選択理論とは何か-』,坂井豊貴著, 岩波新書
関連のある授業科目	経済学 I、総合政策論、経済統計
資格等	なし

科目名

国際経済論

《2単位(講義)／経営福祉学科2年前期／選択必修》

担当者

宇野木広樹

実務経験

授業の概要

現在、世界的に所得と資産の格差が拡大してきている。このままでは、富めるものはますます富み、貧しいものはますます貧しくなるのか。この事を考える為に、所得と資産の格差が起こるメカニズムを理論とデータを用いて説明していきます。また、近年急速に経済成長してきているBRICsの状況を解説していきます。

到達目標

所得・資産格差の発生メカニズムを理解するとともに、近年の国際事情を理解する。

事前事後学習

Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	○
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	所得・資産格差の拡大		
2	所得格差拡大の原因(1)		
3	所得格差拡大の原因(2)		
4	所得格差拡大の原因(3)		
5	所得格差拡大の原因(4)		
6	所得格差拡大の原因(5)		
7	サブプライムローン問題		
8	欧州金融危機		
9	中華人民共和国(1)		
10	中華人民共和国(2)		
11	インド		
12	ロシア		
13	ブラジル		
14	まとめ		
15	まとめ		

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題をアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。		
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題の模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験	60%	ディスカッション	
レポート	40%	プレゼンテーション	
小テスト		スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度		教室外学習	
その他		その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	『21世紀の資本』、トマ・ピケティ著、山形浩生他訳、みすず書房
関連のある授業科目	経済学Ⅰ、経済学Ⅱ、経済統計
資格等	なし

科目名

総合政策論

《2単位(講義)／経営福祉学科2年前期／選択必修》

担当者

宇野木広樹

実務経験

授業の概要

現在の日本経済は、長期に渡る経済不況、労働状況の悪化、社会保障費の増大、財政赤字の増加、急速に進む少子高齢化など、様々な問題を抱えている。これらの問題はそれぞれが密接な関係を持っており、問題解決のためには幅広い分野の知識が必要である。本講義では、日本経済が抱える問題を明らかにするとともに、その問題に対する解決策を解説する。

到達目標

総合政策の目的と課題を理解し、様々な問題に対する政策を理解する。

事前事後学習

Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	○
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				
試験実施の有無	実施する	実施しない			
	○				

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	我が国の財政状況		
2	日本銀行の機能と円高円安の影響		
3	21世紀の日本		
4	人口高齢化、社会保障、経済成長の関係性		
5	社会保障制度		
6	社会保障制度の歴史		
7	公的年金の特徴		
8	公的年金の仕組み		
9	日本の医療保険の仕組みと歴史		
10	医療サービス市場の特殊性		
11	プレミアム付き商品券		
12	衆議院・参議院選挙		
13	男女共同参画		
14	まとめ		
15	まとめ		

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題をアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。		
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題の模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験	60%	ディスカッション	
レポート	40%	プレゼンテーション	
小テスト		スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度		教室外学習	
その他		その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	『福祉の総合政策』, 駒村康平著, 創成社
関連のある授業科目	経済学Ⅰ、経済学Ⅱ、経済統計
資格等	なし

科目名

経営学 I

《2単位(講義)／経営福祉学科 1年前期 選択必修》

担当者

川井健次

実務経験

授業の概要

今日、企業を取り巻く環境はますます厳しくなっている。貿易摩擦、リストラ、環境に対する企業責任、不良債権処理など、企業の個別対応だけでは解決できない課題が山積の状況である。しかし、企業は存続、維持されるべき宿命を負わされている。そこで、経営学 I の講義でこれらの諸問題解決の糸口を理解してもらいたい。

到達目標

資本主義社会における会社の役割、企業の国際化、これからの企業の社会的責任に対する理解を深める。

事前事後学習

授業計画のそれぞれにテーマに関連するテキストの箇所を授業前に読んでおくこと。ホワイトボードに記述したことをノートにとり、整理すること。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	○
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

()

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	企業の意義と役割①資本主義社会と社会主義社会	1	
2	企業の意義と役割②大企業と中小企業の区別	2	
3	企業の歴史①企業発展の歴史	3	
4	企業の歴史②生・家業、人的私企業	4	
5	企業の歴史③資本的私企業	5	
6	企業の歴史④現代企業	6	
7	企業の国際化①国際化の意義・動機	7	
8	企業の国際化②国際化の課題	8	
9	企業の国際化③経営資源の移転戦略	9	
10	企業の国際化④金融危機の問題	10	
11	会社形態 合名・合資・有限・株式	11	
12	株式会社①株式の意味	12	
13	株式会社②株式会社の現代的特徴	13	
14	株式会社③株式会社のガバナンス	14	
15	株式会社④株式会社の長所・短所	15	

授業外学習内容 とその時間			
課題のフィード バック方法			
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験	70%	ディスカッション	
レポート	15%	プレゼンテーション	
小テスト		スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度	15%	教室外学習	
その他		その他	

テキスト	「ゼミナール経営学入門」伊丹・加護野著 日本経済新聞社
参考文献・推薦図書	配布資料
関連のある授業科目	経営学Ⅱ
資格等	なし

科目名

経営学Ⅱ

《2単位(講義)／経営福祉学科 1年後期 選択必修》

担当者

川井健次

実務経験

授業の概要

経営学Ⅰにおいて学んだ経営学に対する基礎的理解を前提にして、今日の経営学の課題に積極的に挑戦してみたい。

到達目標

人はなぜ働くか、について人の欲求にまで深めて理解する。また会社側および働く側双方から、働く意欲(インセンティブ)の意味を考える。さらに、日本の経営について、これまでとこれからについて理解する。

事前事後学習

授業計画のそれぞれにテーマに関連するテキストの箇所を授業前に読んでおくこと。ホワイトボードに記述したことをノートにとり、整理すること。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	○
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1		1	人の欲求① マズローの欲求・生理的欲求、安全欲求
2		2	人の欲求② マズローの欲求・愛情欲求、尊厳欲求
3		3	人の欲求③ マズローの欲求・自己実現欲求
4		4	組織のインセンティブ①物的インセンティブ
5		5	組織のインセンティブ②評価的インセンティブ
6		6	組織のインセンティブ③理念的インセンティブ
7		7	組織のインセンティブ④自己実現的インセンティブ
8		8	企業文化①企業文化とは
9		9	企業文化②活力ある企業文化
10		10	企業文化③澁んでいる企業文化
11		11	日本的経営①日本的経営とは
12		12	日本的経営②終身雇用
13		13	日本的経営③年功主義
14		14	日本的経営④企業別組合・社内教育
15		15	経営学Ⅱのまとめ

授業外学習内容 とその時間				
課題のフィード バック方法				
成績評価方法		評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験		70%	ディスカッション	
レポート		15%	プレゼンテーション	
小テスト			スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)			ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度		15%	教室外学習	
その他			その他	

テキスト	「ゼミナール経営学入門」 伊丹・加護野著 日本経済新聞社
参考文献・推薦図書	配布資料
関連のある授業科目	経営学 I
資格等	なし

科目名

会計学

〔4単位(講義)〕／経営福祉学科2年後期／選択必修

担当者

川井健次

実務経験

授業の概要

企業の会計はお金の処理から始まり、財務諸表(貸借対照表・損益計算書等)の作成へと続く一連の手続きである。この会計手続きの流れを把握し、財務諸表を作成する力、財務諸表を理解する力を講義を通じて身につけてもらいたい。

到達目標

それぞれの会社において作成される財務諸表の内容を理解できる力を身につける。財政状態を表す貸借対照表・収益力を表わす損益計算書の内容を理解する力である。

事前事後学習

授業計画のそれぞれのテーマに関連するテキストの箇所を事前によく読んでおくこと。ホワイトボードの板書したことをノートに取り整理すること。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	○

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画(項目・内容)

回	後期	回	後期
1	会計の構造① 財務計算の意味	16	貸借対照表原則②繰延資産の会計処理 I
2	会計の構造② 損益計算の意味	17	貸借対照表原則③繰延資産の会計処理 II
3	会計の目的①会計の目的とは？	18	財務諸表の理解①収益力を見る I
4	会計の目的②財務諸表の意味	19	財務諸表の理解②収益力を見る II
5	会計公準 会計公準とは？	20	財務諸表の理解③資本収益率を見る。
6	一般原則①真实性の原則	21	財務諸表の理解④金利支払い能力 I
7	一般原則②正規の簿記の原則	22	財務諸表の理解⑤金利支払い能力 II
8	一般原則③継続性の原則	23	財務諸表の理解⑥損益分岐点の理解 I
9	一般原則④明瞭性の原則	24	財務諸表の理解⑦損益分岐点の理解 II
10	一般原則⑤単一性の原則	25	財務諸表の理解のまとめ
11	一般原則⑥保守主義の原則	26	財務諸表の作成①試算表 I
12	損益計算書原則①発生主義の原則	27	財務諸表の作成②試算表 II
13	損益計算書原則②実現主義の原則	28	財務諸表の作成③精算表 I
14	損益計算書原則③費用収益対応の原則③	29	財務諸表の作成④精算表 II
15	貸借対照表原則①貸借対照表3原則	30	財務諸表の作成まとめ

授業外学習内容とその時間				
課題のフィードバック方法				
	成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
	定期試験	70%	ディスカッション	
	レポート	15%	プレゼンテーション	
	小テスト		スピーチ	
	発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
	平常点・授業への貢献度	15%	教室外学習	
	その他		その他	

テキスト	{財務会計講義}桜井久勝 中央経済社
参考文献・推薦図書	「財務会計の原理」宇南山英夫編著 税務経理協会
関連のある授業科目	簿記・簿記演習
資格等	なし

科目名

経済統計

《2単位(講義)／経営福祉学科1年前期／選択必修》

担当者

宇野木広樹

実務経験

授業の概要

日本経済の現状を理解するためには、様々な経済統計を参照する必要があり、経済統計の理解が必要不可欠である。本講義では、経済分析に必要な経済統計の意味を理解するとともに、様々な経済統計をもとにして日本経済の現状を解説してゆく。

到達目標

経済統計の意味を理解し、データをもとにして日本経済の現状を理解できるようになる。

事前事後学習

Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	○
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○				

試験実施の有無

実施する	実施しない
○	

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	経済統計とは何か		
2	日本の財政		
3	GDPとは何か(フローとストックについて)		
4	GDPとは何か(付加価値、総額と純額について)		
5	一人当たりGDP、GDP成長率		
6	GDP成長率の計算		
7	インフレーション、デフレーション、消費者物価指数		
8	失業率、スタグフレーション		
9	銀行の役割、信用創造、金融政策		
10	円高と円安		
11	マネタリーベースとマネーストック		
12	経済循環		
13	三面等価の原則		
14	経済成長率と寄与度・寄与率		
15	小テスト		

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題、小テストをアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。		
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題や小テストの模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。		
成績評価方法		評価割合	アクティブラーニング
定期試験		60%	ディスカッション
レポート			プレゼンテーション
小テスト		20%	スピーチ
発表(プレゼン・スピーチ等)			ロールプレイ
平常点・授業への貢献度		20%	教室外学習
その他			その他

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	『経済統計入門』 中村隆英著 東京大学出版会
関連のある授業科目	経済学Ⅰ、経済学Ⅱ、国際経済論、総合政策論
資格等	なし

科目名

中小企業論

《2単位(講義)／経営福祉学科1年後期／選択必修》

担当者

宇野木広樹

実務経験

授業の概要

現在の日本経済を支えているのは一部の大企業ではなく、多くの中小企業である。中小企業は国民経済の礎であり、様々な技術やノウハウを持っている。中小企業の現状と特徴を理解することは、日本の経済、産業、流通、労働などを理解することにつながる。本講義では、中小企業を様々な観点から解説するとともに、学生の中小企業への理解の深化と関心を高める事を重視して進めていく。

到達目標

中小企業が経済において果たす役割と重要性、日本の中小企業の特徴を理解する。

事前事後学習

Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	○
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義

演習

実験

実習

実技

○

試験実施の有無

実施する

実施しない

○

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
		1	中小企業とは何か、中小企業をとりまく経営環境
		2	中小企業の特徴と経営問題
		3	中小企業が抱える経営問題に対する課題と方策
		4	下請システムと中小企業
		5	下請けシステムの生成と発展
		6	中小企業と雇用不安・格差問題
		7	中小企業と金融問題
		8	公的金融と地域金融機関
		9	産業集積の概念と理論
		10	柔軟な専門化論、産業クラスター論
		11	日本企業の海外進出の現状(1)
		12	日本企業の海外進出の現状(2)
		13	日本企業の中国への進出
		14	東アジアでの事業展開
		15	まとめ

授業外学習内容 とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題をアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。		
課題のフィード バック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題の模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験	60%	ディスカッション	
レポート	40%	プレゼンテーション	
小テスト		スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度		教室外学習	
その他		その他	

テキスト	随時資料を配布する。
参考文献・推薦図書	『現代中小企業論』, 高田亮爾 他著, 2013年版, 同友館
関連のある授業科目	経済学 I・経済学 II
資格等	なし

科目名

所得税法

《2単位(講義)／経営福祉学科 2年前期 ／ 選択必修》

担当者

鶴濱邦昭

実務経験

税理士事務所に勤務

授業の概要

確定申告に必要とされる所得税法の知識を習得します。
 全て国民は納税の義務を負っています。個人事業者、給与所得者等その年度中に何らかの収入があった国民は確定申告等を行うことにより、所得税を支払わなければなりません。所得税等の税金により「国」は運営されています。税金のうちでも重要であり、かつ生活に密着した所得税の仕組みを解説します。

到達目標

収入・所得のある人は、確定申告等により、すべて所得税を「国」に納付しなければならぬことになっています。そこで、所得税に関する基本的な事項について理解します。例えば、所得の種類・必要経費・源泉徴収制度・所得税控除等の意味を理解します。

事前事後学習

授業計画のそれぞれのテーマに関連するテキストの個所を事前によく読んでおくこと。
 ホワイトボードに板書したことをノートにとり整理すること。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	○
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				
試験実施の有無	実施する	実施しない			
	○				

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	所得税制度のあらし①所得とは？	1	
2	所得税制度のあらし②課税所得の内容	2	
3	所得税制度のあらし③変動所得・臨時所得他	3	
4	所得税制度のあらし④源泉徴収制度	4	
5	所得税制度のあらし⑤青色申告制度	5	
6	所得金額の計算①収入金額の計算 Ⅰ	6	
7	所得金額の計算②収入金額の計算 Ⅱ	7	
8	所得金額の計算③必要経費の計算 Ⅰ	8	
9	所得金額の計算④必要経費の計算 Ⅱ	9	
10	所得金額の計算⑤所得税控除等について	10	
11	所得金額の計算⑥事業所得金額の計算	11	
12	所得金額の計算⑦不動産所得金額の計算	12	
13	所得金額の計算⑧給与所得金額の計算	13	
14	所得金額の計算⑨その他所得金額の計算	14	
15	所得税制度まとめ	15	

授業外学習内容とその時間				
課題のフィードバック方法				
	成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
	定期試験	100%	ディスカッション	
	レポート		プレゼンテーション	
	小テスト		スピーチ	
	発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
	平常点・授業への貢献度		教室外学習	
	その他		その他	

テキスト	「新暮らしの税金百科」 財団法人納税協 清文社
参考文献・推薦図書	「やさしい所得税」 税務経理研究協会
関連のある授業科目	会計学
資格等	なし

科目名

相続税法

《2単位(講義)／経営福祉学科2年後期／選択必修》

担当者

川井健次

実務経験

授業の概要

民法に定める相続に関する基礎知識について解説する。
相続税の基本的な計算のしくみについて解説する。

到達目標

民法に定める相続に関する基礎知識(相続・法定相続人・法定相続分・遺留分・遺言等)を理解し、相続税の基本的な計算のしくみが理解できるようになること。

事前事後学習

授業計画におけるテキストの該当箇所を事前に読み、授業中に板書したことをノートにとり、理解が出来なかった点を確認し、質問するように努めること。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	○
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

	講義	演習	実験	実習	実技
	○				
試験実施の有無	実施する	実施しない			
	○				

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1		1	オリエンテーション
2		2	相続の基礎知識Ⅰ(承認・放棄)
3		3	相続の基礎知識Ⅱ(法定相続人・法定相続分)
4		4	相続の基礎知識Ⅲ(遺留分・遺言書)
5		5	贈与税と相続税の関係
6		6	相続税の計算のしくみⅠ(申告期限と申告方法)
7		7	相続税の計算のしくみⅡ(相続財産)
8		8	相続税の計算のしくみⅢ(みなし相続財産)
9		9	相続税の計算のしくみⅣ(基礎控除)
10		10	相続税の計算のしくみⅤ(財産評価)
11		11	相続税の計算のしくみⅥ(小規模宅地の特例)
12		12	相続税の計算のしくみⅦ(配偶者の税額軽減)
13		13	相続税の計算のしくみⅧ(相続時精算課税)
14		14	納付税額の計算Ⅰ(各種税額控除)
15		15	納付税額の計算Ⅱ(税額計算)

授業外学習内容 とその時間	授業前予習30分、復習30分		
課題のフィード バック方法	事業計画にあるそれぞれのテーマについて説明を進める。ポイントをしっかり押さえて理解する。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験	70%	ディスカッション	
レポート		プレゼンテーション	
小テスト	15%	スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度	15%	教室外学習	
その他		その他 ケースメソッド	有

テキスト	新くらしの税金百科 2020～2021 清文社
参考文献・推薦図書	なし
関連のある授業科目	所得税法
資格等	なし

科目名

簿記

《4単位(講義)／経営福祉学科1年前期／選択必修》

担当者

磯部雄大

実務経験

税理士事務所に勤務

授業の概要

簿記初学者を対象に簿記の基礎から日商簿記3級程度の力の習得を目指す。
簿記の実務は、問題やテキストでの勉強だけではイメージが湧きづらいので、実際の実務での処理も交えながら簿記の全体像を理解していきます。

到達目標

- ・簿記の流れについて理解する。
- ・勘定科目の意味を把握する。
- ・貸借対照表、損益計算書について理解する。

事前事後学習

事前にテキストの該当ページについて目を通しておくこと

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	○

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				
試験実施の有無	実施する	実施しない			
	○				

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	簿記とは、資産・負債・資本と貸借対照表	16	その他債権・債務取引(立替金、預り金ほか)
2	収益・費用と損益計算書	17	売買目的有価証券、固定資産取引
3	取引と勘定記入	18	個人企業の資本と税務取引(資本金勘定、引出金勘定)
4	仕訳と転記	19	個人企業の資本と税務取引(個人企業の税金、消費税)、訂正仕訳
5	試算表、決算(決算とは、決算の手続き、振替と損益勘定)	20	演習問題他
6	決算(帳簿決算、損益計算書・貸借対照表の作成)	21	決算の手続き(決算、決算の手続き、決算整理事項①)
7	演習問題他	22	決算の手続き(決算整理事項①)
8	現金・預金取引(現金・現金過不足)	23	決算の手続き(棚卸表、8欄精算表)
9	現金・預金取引(当座預金・当座借越)	24	決算の手続き(BS、PLの作成)
10	現金・預金取引(小口現金)	25	決算の手続き(決算整理事項②)
11	商品売買取引(分記法と3分法)	26	決算の手続き(決算整理事項②)
12	商品売買取引(3分法による記帳)	27	伝票
13	掛け取引(売掛金と売掛金元帳、買掛金と買掛金元帳)	28	演習問題他
14	手形取引(受取手形勘定と支払手形勘定他)	29	演習問題他
15	その他の債権・債務取引(貸付金、借入金ほか)	30	演習問題他

授業外学習内容とその時間	授業前予習30分、復習30分		
課題のフィードバック方法			
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験	50%	ディスカッション	無
レポート		プレゼンテーション	無
小テスト		スピーチ	無
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	無
平常点・授業への貢献度	50%	教室外学習	無
その他		その他	

テキスト	スッキリわかる 日商簿記3級 第11版 TAC出版
参考文献・推薦図書	なし
関連のある授業科目	会計学
資格等	日商簿記3級受験

科目名

簿記演習

《2単位(演習)／経営福祉学科 1年後期 選択必修》

担当者

坂口慶多

実務経験

税理士事務所に勤務

授業の概要

簿記の講義で学んだ知識で演習問題を数多く解く。

到達目標

日商簿記検定3級に合格できる程度の知識を身につける。

事前事後学習

基本簿記の該当ページを読み、復習しておくこと。
講義中に一度解くだけでは身につかないので、講義後も複数回解くこと。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	○

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○	○			○
試験実施の有無	実施する	実施しない			
		○			

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	簿記とは、資産・負債・資本と貸借対照表	16	伝票・月次合計試算表
2	収益・費用と損益計算書	17	演習問題①
3	取引と勘定記入・仕訳と転記	18	演習問題②
4	試算表	19	演習問題③
5	決算	20	演習問題④
6	精算表、現金・預金取引(当座まで)	21	演習問題⑤
7	現金・預金取引、商品売買取引	22	演習問題⑥
8	掛け取引	23	演習問題⑦
9	手形取引、その他の債権・債務取引	24	演習問題⑧
10	売買目的有価証券	25	演習問題⑨
11	固定資産取引、個人企業の資本と税務取引	26	演習問題⑩
12	訂正仕訳、決算・決算整理手続き・決算整理事項(その1)	27	演習問題⑪
13	決算・決算整理手続き・決算整理事項(その1)	28	演習問題⑫
14	棚卸表・8欄清算表・損益計算書と貸借対照表	29	演習問題⑬
15	決算整理事項(その2)	30	その他講義

授業外学習内容とその時間	授業前予習30分、復習30分		
課題のフィードバック方法	繰り返し問題演習を行うことにより、授業内容の定着を図る。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験	50%	ディスカッション	無
レポート		プレゼンテーション	無
小テスト		スピーチ	無
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	無
平常点・授業への貢献度	50%	教室外学習	無
その他		その他	無

テキスト	「基本簿記演習」 実教出版
参考文献・推薦図書	なし
関連のある授業科目	会計学
資格等	日商簿記3級受験

情報ビジネス論 I

《2単位(講義)／情報福祉学科1年前期／選択必修》

担当者

村上 亜由美

実務経験

航空会社に勤務

授業の概要

日本のしきたりやマナーの歴史を学び社会人として、国際人としてのマナーを理解し、堂々と振る舞えるように学んでいく。又、会社の仕組みを知り、仕事をの進め方、ビジネスコミュニケーションのルールを学ぶ。実践を通し訓練を繰り返すことで社会人としての心構え、就職活動に役立つスキルを身につける。

到達目標

社会人として、国際人として、マナーとは何か。歴史、しきたり、意味を理解する。社会人として身につけた基礎知識を実践し、自信を持って社会の為、自己実現のために高い成果を達成できる人材になる。

事前事後学習

随時資料を配布します。資料をよく読み理解を深める事。必要に応じて「働く若者のハンドブック」を活用します。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	○
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○	○			○
試験実施の有無	実施する	実施しない			
		○			

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1	授業オリエンテーション	16	
2	マナーとは何か、歴史と意味	17	
3	国際人としてのマナー	18	
4	社会人に必要なマナー	19	
5	社交の場でのコミュニケーション	20	
6	会社の仕組み	21	
7	仕事の進め方	22	
8	電話対応のマナー	23	
9	来客対応のマナー	24	
10	ビジネス文書のルール ①書面	25	
11	②電子メール他	26	
12	食事のマナー (和・洋・中)	27	
13	しきたり、慣習について	28	
14	日本の文化について	29	
15	まとめ レポート作成	30	

授業外学習内容とその時間				
課題のフィードバック方法				
	成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
	定期試験		ディスカッション	
	レポート	50%	プレゼンテーション	
	小テスト		スピーチ	
	発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
	平常点・授業への貢献度	50%	教室外学習	
	その他		その他	

テキスト	なし
参考文献・推薦図書	働く若者のハンドブック 熊本県雇用環境整備協会
関連のある授業科目	なし
資格等	なし

情報ビジネス論Ⅱ

《2単位(講義)／情報福祉学科1年後期／選択必修》

担当者

村上 亜由美

実務経験

航空会社に勤務

授業の概要

日本のしきたりやマナーの歴史を学び社会人として、国際人としてのマナーを理解し、堂々と振る舞えるように学んでいく。又、会社の仕組みを知り、仕事の進め方、ビジネスコミュニケーションのルールを学ぶ。実践を通し訓練を繰り返すことで社会人としての心構え、就職活動に役立つスキルを身につける。

到達目標

社会人として、国際人として、マナーとは何か。歴史、しきたり、意味を理解する。社会人として身につけた基礎知識を実践し、自信を持って社会の為、自己実現のために高い成果を達成できる人材になる。

事前事後学習

随時資料を配布します。資料をよく読み理解を深める事。必要に応じて「働く若者のハンドブック」を活用します。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	○
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○	○			○
試験実施の有無	実施する	実施しない			
		○			

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1		1	授業オリエンテーション
2		2	第一印象
3		3	身だしなみ
4		4	挨拶
5		5	発声法 (声のマナー)
6		6	お辞儀の仕方
7		7	お辞儀の仕方(実践)
8		8	歩き方 座り方
9		9	丁寧な言葉遣い
10		10	企業研究の取り組み方
11		11	自己PRの作成
12		12	就職活動について
13		13	面接練習
14		14	模擬面接、評価
15		15	まとめ レポート作成

授業外学習内容とその時間			
課題のフィードバック方法			
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験		ディスカッション	
レポート	50%	プレゼンテーション	
小テスト		スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度	50%	教室外学習	
その他		その他	

テキスト	なし
参考文献・推薦図書	働く若者のハンドブック 熊本県雇用環境整備協会
関連のある授業科目	なし
資格等	なし

科目名

プログラミング演習

《2単位(演習)／経営福祉学科2年前期》

担当者

村上幸生

実務経験

授業の概要

現在、スマートフォンの急速な普及によりモバイルサイトの重要性が高まってきている。本講義では、webプログラミングを通じて、初歩的なプログラミング技術を習得するとともにモバイルサイトを構築するために必要な知識と技術を習得する。

到達目標

webプログラミング言語であるjavascriptを用いて、簡易なモバイルサイトが構築できる。

事前事後学習

プログラミングの演習にはキーボード操作が必要不可欠です。キーボード入力が苦にならないようにしっかりとキーボード練習をしてください。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	○
9	情報収集整理能力	○
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
		○			○
試験実施の有無	実施する	実施しない			
		○			

授業計画(項目・内容)

回	後期	回	後期
1	モバイルサイト構築のための開発環境	16	ペンションサイトのシステム設計
2	HTML5概要	17	買い物かご機能の搭載1
3	HTMLの基本	18	買い物かご機能の搭載2
4	CSSの基本	19	予約システム機能の搭載1
5	javascriptの基本	20	予約システム機能の搭載2
6	jQueryMobileの基本	21	ペンションサイトの制作1
7	eビジネスとは	22	ペンションサイトの制作2
8	オンラインショッピングサイトのシステム設計	23	ペンションサイトの制作3
9	オンラインショッピングサイトの制作1	24	ペンションサイトの制作4
10	オンラインショッピングサイトの制作2	25	ペンションサイトの制作5
11	オンラインショッピングサイトの制作3	26	ペンションサイトの制作6
12	オンラインショッピングサイトの制作4	27	ペンションサイトの制作7
13	オンラインショッピングサイトの制作5	28	jQueryMobileのカスタマイズ1
14	オンラインショッピングサイトの制作6	29	jQueryMobileのカスタマイズ2
15	オンラインショッピングサイトの制作7	30	jQueryMobileのカスタマイズ3

授業外学習内容とその時間				
課題のフィードバック方法	学習支援ポータル上にて行う。			
成績評価方法	評価割合		アクティブラーニング	有無
定期試験			ディスカッション	
レポート			プレゼンテーション	
小テスト			スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)			ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度	30%		教室外学習	
その他(確認テスト)	70%		その他	

テキスト	学習支援ポータル上に配置
参考文献・推薦図書	学習支援ポータル上で紹介
関連のある授業科目	コンピュータリテラシー
資格等	なし

科目名

コンピュータ概論

《2単位(講義)／経営福祉学科1年前期》

担当者

村上幸生

実務経験

授業の概要

Windows10およびOffice2016を利用し、コンピュータの基本的な知識を学ぶとともにプレゼンテーションを行う際に必要となる資料作成知識および技術を学ぶ。また、インターネットを使っていく上で習得しておくべき情報セキュリティや情報モラルについても学ぶ。

到達目標

さまざまな目的や状況に応じてプレゼンテーションを作成・編集できる。

事前事後学習

講義中に練習問題を出すので、しっかりと復習しておくこと。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	○
9	情報収集整理能力	○
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○	○			
実施する	実施しない			
	○			

試験実施の有無

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	前期
1	コンピュータの基本操作、情報セキュリティ	1	
2	プレゼンテーションの作成と編集1	2	
3	プレゼンテーションの作成と編集2	3	
4	テキスト、図形、画像の挿入と編集1	4	
5	テキスト、図形、画像の挿入と編集2	5	
6	表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入と設定1	6	
7	表、グラフ、SmartArt、メディアの挿入と設定2	7	
8	特殊効果の設定とスライドショー1	8	
9	特殊効果の設定とスライドショー2	9	
10	プレゼンテーションの管理1	10	
11	プレゼンテーションの管理2	11	
12	プレゼンテーションの印刷と仕上げ	12	
13	表計算ソフトの利用4	13	
14	表計算ソフトの利用5	14	
15	まとめ	15	

授業外学習内容とその時間			
課題のフィードバック方法	学習支援ポータル上にて行う。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験		ディスカッション	
レポート		プレゼンテーション	
小テスト	20%	スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度	20%	教室外学習	
その他(確認テスト)	60%	その他	

テキスト	学習支援ポータル上に配置
参考文献・推薦図書	学習支援ポータル上で紹介
関連のある授業科目	コンピュータリテラシー
資格等	MOS PowerPoint 2016

科目名

コンピューターリテラシー

《2単位(演習)／経営福祉学科1年後期》

担当者

村上幸生

実務経験

授業の概要

科目「コンピュータ概論」を前提知識として、ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの利用スキルを証明する資格であるMOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)取得を目指す。

到達目標

MOS資格の一般レベルが取得できる。また、インターネットおよびスマートフォンを利用した基本的な情報処理操作ができる。

事前事後学習

演習中に行う演習については、時間内に終わらない場合は必ず次の演習までに終わておくこと。また、小テストを行うこともあるので、必ず前回の復習をしておくこと。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	○
9	情報収集整理能力	○
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
	○			○

試験実施の有無

実施する	実施しない
	○

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	前期
1	MOS(Word一般レベル)1	16	MOS(Excel一般レベル)9
2	MOS(Word一般レベル)2	17	MOS(Excel一般レベル)10
3	MOS(Word一般レベル)3	18	MOS(Excel一般レベル)11
4	MOS(Word一般レベル)4	19	MOS(Excel一般レベル)12
5	MOS(Word一般レベル)5	20	MOS(Excel一般レベル)13
6	MOS(Word一般レベル)6	21	MOS(Excel一般レベル)14
7	MOS(Word一般レベル)7	22	MOS(PowerPoint一般レベル)1
8	MOS(Excel一般レベル)1	23	MOS(PowerPoint一般レベル)2
9	MOS(Excel一般レベル)2	24	MOS(PowerPoint一般レベル)3
10	MOS(Excel一般レベル)3	25	MOS(PowerPoint一般レベル)4
11	MOS(Excel一般レベル)4	26	MOS(PowerPoint一般レベル)5
12	MOS(Excel一般レベル)5	27	MOS(PowerPoint一般レベル)6
13	MOS(Excel一般レベル)6	28	MOS(PowerPoint一般レベル)7
14	MOS(Excel一般レベル)7	29	情報セキュリティ
15	MOS(Excel一般レベル)8	30	まとめ

授業外学習内容とその時間			
課題のフィードバック方法	学習支援ポータル上にて行う。		
成績評価方法	評価割合		アクティブラーニング
定期試験			ディスカッション
レポート			プレゼンテーション
小テスト			スピーチ
発表(プレゼン・スピーチ等)			ロールプレイ
平常点・授業への貢献度	30%		教室外学習
その他(確認テスト)	70%		その他
			有無

テキスト	学習支援ポータル上に配置
参考文献・推薦図書	学習支援ポータル上で紹介
関連のある授業科目	コンピュータリテラシー
資格等	MOS Word 2016,MOS Excel 2016

科目名

医療事務

《2単位(演習)／全学科後期》

担当者

村上幸生

実務経験

授業の概要

診療報酬請求事務業務や窓口業務など医療事務職として求められる専門知識および技術を学ぶとともに「メディカルクラーク」の称号取得を目指す。

到達目標

医療機関等における受付業務、診療報酬請求事務業務に関する能力を身につける。

事前事後学習

講義内容について復習を行い、講義期間中に課題を提出してもらう。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	○
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
		○			○
試験実施の有無	実施する	実施しない			
		○			

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	前期
1	患者接遇／医療事務一般知識1	16	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト7
2	患者接遇／医療事務一般知識2	17	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト1
3	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト1	18	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト1
4	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト1	19	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト2
5	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト2	20	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト2
6	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト2	21	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト3
7	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト3	22	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト3
8	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト3	23	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト4
9	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト4	24	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト4
10	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト4	25	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト5
11	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト5	26	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト5
12	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト5	27	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト6
13	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト6	28	患者接遇／医療事務一般知識／入院レセプト6
14	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト6	29	総合演習1
15	患者接遇／医療事務一般知識／外来レセプト7	30	総合演習2

授業外学習内容とその時間			
課題のフィードバック方法	学習支援ポータル上にて行う。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験		ディスカッション	
レポート		プレゼンテーション	
小テスト		スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度	30%	教室外学習	
その他(確認テスト)	70%	その他	

テキスト	『診療報酬・完全攻略マニュアル2022-23年版』青山美智子、医学通信社
参考文献・推薦図書	
関連のある授業科目	
資格等	メディカルクラーク

科目名

建築CAD

《1単位(演習)／全学科後期》

担当者

村上幸生

実務経験

授業の概要

2次元汎用CADソフト「jw-cad」を使用して、CADの基本操作を学ぶとともにCADを利用したさまざまな成果物を制作する。また、建築製図の基本も同時に学ぶ。

到達目標

設計者からの指示に従いCADで建築設計図を描くことができる。

事前事後学習

講義内容について復習を行い、講義期間中に数回の成果物を提出してもらおう。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	○
9	情報収集整理能力	○
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
		○			○
試験実施の有無	実施する	実施しない			
		○			

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
1		1	jw-cadを使うための準備、建築製図の基本
2		2	会場案内図の制作1
3		3	会場案内図の制作2
4		4	住宅間取り図の制作1
5		5	住宅間取り図の制作2
6		6	オフィスレイアウトの制作1
7		7	オフィスレイアウトの制作2
8		8	階段平面図の制作1
9		9	階段平面図の制作2
10		10	階段平面図の制作3
11		11	通り芯・寸法・通り芯記号1
12		12	通り芯・寸法・通り芯記号2
13		13	柱・壁・窓・間仕切壁1
14		14	柱・壁・窓・間仕切壁2
15		15	建具

授業外学習内容とその時間				
課題のフィードバック方法	学習支援ポータル上にて行う。			
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無	
定期試験		ディスカッション		
レポート		プレゼンテーション		
小テスト		スピーチ		
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ		
平常点・授業への貢献度	30%	教室外学習		
その他(確認テスト)	70%	その他		

テキスト	学習支援ポータル上に配置
参考文献・推薦図書	学習支援ポータル上で紹介
関連のある授業科目	
資格等	建築CAD検定3級

科目名

税理事務実習

《2単位(実習)／経営福祉学科2年前期集中／選択必修》

担当者

川井健次

実務経験

授業の概要

会計処理の実務を実際に体験することにより、会計の専門知識と会計処理能力を身につける。
 税理事務実習の目的
 ①会計処理の実際に触れ、将来の職業会計人としての素養を身につける。
 ②基本的な技能を実習先にて実際に応用し、生きた知識を身につける。

到達目標

簿記・会計学・所得税等、会計および税については、講義を通じて学ぶことになっているが、現実の社会における会計実務の流れを体験する。

事前事後学習

実習前指導と実習後の評価表による指導を行う。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	○
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

講義	演習	実験	実習	実技
○	○			○
実施する	実施しない			
	○			

試験実施の有無

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
	・実習の内容		
	①計算実務、②帳簿・伝票の貴重		
	③データ入力、④説客・接遇		
	⑤文書実務		
	・実習の選考基準		
	①税務・会計分野に所属するもの		
	②つぎの科目から3科目以上履修したもの		
	◆簿記		
	◆簿記演習		
	◆会計学		
	◆所得税法		
	◆相続税法		
	・実習期間		
	8月(12日間)		

授業外学習内容とその時間			
課題のフィードバック方法			
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験		ディスカッション	
レポート		プレゼンテーション	
小テスト		スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度	30%	教室外学習	
その他(実習)	70%	その他	

テキスト	なし
参考文献・推薦図書	会計学及び簿記テキスト
関連のある授業科目	簿記・簿記演習・会計学・所得税法・相続税法
資格等	なし

科目名

ファイナンシャル・プランニング I

《1単位(演習)／経営福祉学科1年後期／選択必修》

担当者

宇野木広樹

実務経験

授業の概要

我々の生活において必ず必要なものは「お金」です。そしてこの「お金」をどのように使っていくのかで我々の生活は大きく変わります。人生のどのような場面・タイミングでどのようにお金を使うのかということは悩ましい問題です。「年金」、「保険」、「株式・預貯金などの金融資産」、「税金」、「不動産」、「相続」などに共通するものは「お金」であり、この「お金」の悩みに答えるのが、ファイナンシャル・プランナーという専門家です。
本講義では、ファイナンシャル・プランナーとして必要な知識の中で、「ライフプランニングと資金計画」と「リスクマネジメント」について解説していきます。

到達目標

ファイナンシャル・プランナー3級試験に出題される、「ライフプランニングと資金計画」と「リスクマネジメント」に関する問題を解けるようになる。

事前事後学習

Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	○
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	○
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法

	講義	演習	実験	実習	実技
		○			
試験実施の有無	実施する	実施しない			
	○				

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
		1	ファイナンシャル・プランナーと倫理
		2	ライフプランニングの手法
		3	ライフプラン策定上の資金計画
		4	社会保険
		5	公的年金の全体像
		6	公的年金の給付
		7	企業年金など
		8	年金と税金
		9	小テスト1
		10	保険の基本
		11	生命保険
		12	損害保険
		13	第三分野の保険
		14	小テスト2
		15	まとめ

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題、小テストをアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。		
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題や小テストの模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験	60%	ディスカッション	
レポート		プレゼンテーション	
小テスト	40%	スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度		教室外学習	
その他		その他	

テキスト	『みんなが欲しかった！FPの教科書(’23-’24年版)』, 滝沢ななみ, TAC出版
参考文献・推薦図書	『みんなが欲しかった！FPの問題集(’23-’24年版)』, 滝沢ななみ, TAC出版
関連のある授業科目	ファイナンシャル・プランニングⅡ、ファイナンシャル・プランニングⅢ
資格等	ファイナンシャル・プランニング3級取得に関連

科目名

ファイナンシャル・プランニングⅡ

《1単位(演習)/経営福祉学科1年後期/選択必修》

担当者

宇野木広樹

実務経験

授業の概要

我々の生活において必ず必要なものは「お金」です。そしてこの「お金」をどのように使っていくのかで我々の生活は大きく変わります。人生のどのような場面・タイミングでどのようにお金を使うのかということは悩ましい問題です。「年金」、「保険」、「株式・預貯金などの金融資産」、「税金」、「不動産」、「相続」などに共通するものは「お金」であり、この「お金」の悩みに答えるのが、ファイナンシャル・プランナーという専門家です。
本講義では、ファイナンシャル・プランナーとして必要な知識の中で、「金融資産運用」と「タックスプランニング」について解説していきます。

到達目標

ファイナンシャル・プランナー3級試験に出題される、「金融資産運用」と「タックスプランニング」に関する問題を解けるようになる。

事前事後学習

Nkjc学習支援ポータルにて講義内容等をアップロードしますので、それらを利用して事前・事後学習をして下さい。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	○
7	身近な法律に対する基本的な理解	○
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
		○			
試験実施の有無	実施する	実施しない			
	○				

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
		1	金融・経済の基本
		2	セーフティネットと関連法規、貯蓄型金融商品
		3	債券
		4	株式
		5	投資信託
		6	外貨建て金融商品、金融商品と税金
		7	ポートフォリオとデリバティブ取引
		8	小テスト1
		9	所得税の基本
		10	各所得の計算
		11	課税標準の計算
		12	所得控除
		13	税額の計算と税額控除
		14	所得税の申告と納付、個人住民税、個人事業税
		15	小テスト2

授業外学習内容とその時間	Nkjc学習支援ポータルにて講義内容、課題、小テストをアップロードしますので、それらを利用して予習・復習をして下さい。授業外学習時間としては、1回の講義あたり1時間程度を目安として予習・復習等をして下さい。		
課題のフィードバック方法	Nkjc学習支援ポータルにて課題や小テストの模範解答をアップロードしますので、各自確認をしておいて下さい。		
成績評価方法	評価割合	アクティブラーニング	有無
定期試験	60%	ディスカッション	
レポート		プレゼンテーション	
小テスト	40%	スピーチ	
発表(プレゼン・スピーチ等)		ロールプレイ	
平常点・授業への貢献度		教室外学習	
その他		その他	

テキスト	『みんなが欲しかった！FPの教科書(’23-’24年版)』, 滝沢ななみ, TAC出版
参考文献・推薦図書	『みんなが欲しかった！FPの問題集(’23-’24年版)』, 滝沢ななみ, TAC出版
関連のある授業科目	ファイナンシャル・プランニングⅡ、ファイナンシャル・プランニングⅢ
資格等	ファイナンシャル・プランニング3級取得に関連

科目名

ファイナンシャルプライニングⅢ

《2単位(実習)／経営福祉学科2年前期集中／選択必修》

担当者

川井健次

実務経験

授業の概要

我々の生活において必ず必要なものはお金です。そしてこのお金をどのように使っていくかで我々の生活は大きく変わります。「不動産」、「相続」に関するお金の悩み答えるのが、ファイナンシャル・プランナーです。本講義では、「不動産」と「相続」について解説します。

到達目標

ファイナンシャル・プランナー3級試験に出題される、「不動産」と「相続」について解説します。

事前事後学習

各回のテーマに示されている問題に沿って、わかりやすく解説します。

	ディプロマポリシーに係る学習成果	学科での関与度
1	社会生活におけるマナーの習得	
2	他者とのコミュニケーション力	
3	自分の考えを表現する力	
4	社会に対する理解	○
5	社会における企業の役割	
6	社会の経済活動	
7	身近な法律に対する基本的な理解	
8	パソコン活用能力	
9	情報収集整理能力	
10	数的問題解決能力	

授業実施方法	講義	演習	実験	実習	実技
	○				
試験実施の有無	実施する	実施しない			
	○				

授業計画(項目・内容)

回	前期	回	後期
		1	不動産の基本
		2	不動産取引
		3	不動産に関する法令
		4	不動産の税金
		5	不動産の有効活用
		6	小テスト
		7	相続の基本
		8	相続税①

		9	相続税②
		10	相続税の計算①
		11	相続税の計算②
		12	贈与税
		13	贈与税の計算
		14	資産のまとめ
		15	小テスト

授業外学習内容とその時間			
課題のフィードバック方法			
成績評価方法		評価割合	アクティブラーニング
			有無
定期試験		70%	ディスカッション
レポート			プレゼンテーション
小テスト		15%	スピーチ
発表(プレゼン・スピーチ等)			ロールプレイ
平常点・授業への貢献度		15%	教室外学習
その他(実習)			その他

テキスト	みんなが欲しかった！FPの教科書('21ー'22年版)TAC出版
参考文献・推薦図書	
関連のある授業科目	相続税法 法学Ⅰ、法学Ⅱ
資格等	なし